

こおご保雄

議会NEWS

第5号

09年1月00日発行



ご挨拶

みなさまには、こおご保雄の日頃からの議員活動に格別のご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

初当選より二年半、税理士としての職能を生かし、「税金の無駄遣いは許さない」との決意のもと、安心・安全な街づくりを目指して、日々議員活動に邁進させていただいております。

今年第三回の市議会定例会一般質問においても、みなさまのご要望が大きかった案件につきまして質問・提案し、市民のみなさまの声を市政へ届けてまいりました。

以下に、こおご保雄の十月市議会での主な質疑の内容を掲載いたしましたので、ぜひご覧下さい。

こおご保雄

平成二十一年第三回 千葉市議会定例会

十月定例会における一般質問について。

- ①「子どもの医療費に対する助成の拡充について」、②「富士見加曽利町線の歩道整備の進捗状況について」、③「富士見町における夜間の客引き防止策について」、④「高齢者に関する疾患予防支援策について」、⑤「中央卸売市場関連棟の家賃について」、以上の五項目に関して、当局に答弁を求めました。内容を抜粋してお届けします。

① 子どもの医療費に対する助成の拡充について

一般質問の中で子どもの医療費に対する助成の拡充のスケジュールと課題について質問しました。

入院医療費の助成について、中学校卒業まで拡大すべきである旨を伝えたところ、保健福祉局長より「小学校卒業までの入院医療費について、来年度から実施できるような具体的な検討を行っている」、「中学校卒業まで拡大することについては、今後関係部局と協議していく」との答弁を引き出しました。この施策は対象者が多く、実行の際には財源や現実性を考慮しなければなりません。

しかし、千葉市で生まれ育つ子ども達は、大きな病気や怪我をしても、義務教育修了までは、経済的な心配がない環境を整備していくことが重要だと考えております。

そこで、財源とバランスを取りつつも、来年度からの入院医療費助成は**中学卒業まで拡充すべきだ**と主張いたしました。

また、医療費助成拡充に関しては、千葉県をはじめ関係機関と連携を密に準備をすすめることも、市民に対する周知を十分行うなど、事業が円滑に開始されるよう要望いたしました。

その他の一般質問については裏面をご覧ください。



一般質問の様子

子や孫たちにツケをまわさない！

これまで行政は、市民から預かった税金で、多くの無駄遣いを行ってきました。税金だけではまかないきれずに、多額の借金さえ作ってきたのです。借金は私たちの子や孫の世代の増税につながります。

現役世代はもちろん、将来世代に対しても、これ以上**ツケ（増税）を残すわけにはいきません。**

わたくし、こおご保雄はJTRの趣旨に賛同し、「**いかなる増税にも反対する**」と書かれた納税者保護誓約書に署名いたしました。

市民の皆さまの生活を脅かす増税をなくすために、行政改革を徹底し、税金の無駄遣いをなくすことで、財政再建を目指してまいります。



子どもにツケをまわさない！

JTR(日本税制改革協議会)とは:「いかなる増税にも反対する」と明言できる政治家を一人でも多く作り出そうとしている団体です。

2

富士見加曾利町線の歩道整備の進捗状況について

質問 こんばん

「なぜ完成にこれほど時間を要しているのか、そして工事の完了時期はいつなのか」

回答 建設局長

「未整備区間の用地取得に時間を要しておりますが、本年七月に用地の取得にできましたので、今年度中に歩道整備は完了いたします」

こおごの主張!

市民が安全で快適に暮らすために、道路整備は大変重要です。特に本路線は、市の中心部から内陸・臨海部へ連絡する重要な幹線道路です。この主要道路において、歩行者の安全・安心の確保を図ることは緊急の課題でした。この歩道整備事業の早期完成を強く要望していたのですが、このたび、**本年度中の完成という回答**を得ることができました。道路整備はもういらぬとする熊谷市長に対しても、安全・安心確保の観点から、歩道整備を含めた道路事業について慎重な議論をしていただけるよう要望してまいります。



3

富士見町における夜間の客引き防止策について

質問 こんばん

「富士見町における客引きなどの防止について、市としてどのような取り組みをしているか。また、迷惑行為防止のための条例制定についてどのように考えているのか」

回答 市民局長

「千葉県警察において、客引き行為に対する取締強化をすすめていると聞いております。市としては、地元住民の防犯活動の支援や警察との連携強化を図っているところでございます。また条例制定については、警察と協議しながら調査・研究してまいります」

こおごの主張!

県都千葉市の中心街としての街の品格を保つためにも、**罰則強化も含めた条例の制定を強く要望**してまいります。

4

高齢者に関する疾患予防支援策について

質問 こんばん

「高齢者が健康で生きがいのある生活を送るための施設として、いきいきプラザ（センター）がある。平成二十年度の全利用者は延べ五十万八千八百八十一人となっているが、そのうちデイサービス利用者・健康相談利用者は何人いるか」

回答 保健福祉局長

「デイサービスは、延べ二万二千六百六十三人。健康相談は、延べ六万八千六百五十四人となっております」

こおごの主張!

いきいきプラザ（センター）は、多くの高齢者の健康維持に貢献していると評価できます。しかし、様々な事情でいきいきプラザ（センター）に来所し難い高齢者の方たちにも、健康サポートは必要です。テレビ電話などの情報通信技術を駆使して、最寄りの公民館・自治会館でも健康サポートを受けていただける環境を構築することを、提案いたしました。

5

中央卸売市場関連棟の家賃について

質問 こんばん

「千葉市の中央卸売市場関連棟の家賃は、他の政令指定都市と比べてどの様な状況なのか」

回答 経済農政局長

「他の政令指定都市の使用料平均は一方メートルにつき、一月あたり千五百三十四円。千葉市の場合がこれが千三百四十四円となり、本市はやや低い金額となっております」

こおごの主張!

千葉市における市場関連の家賃は、相対的には若干安くなっております。しかし、歴史的に見ると、昭和五十四年のスタート時から平成七年・平成八年と段階的に上昇しています。低迷する経済状況の中、市場の売買参加者が年々減少していることを考えると、**このままの料金体系を続けることは問題**です。

小売業態の変化をふまえ、市場のあり方そのものを考え直さなければならぬ時期が来ています。その一環としてまず

は、**市場の使用料を以前の水準に戻し、使用者負担を軽減すること**を提言いたしました。

条例値 (1m²あたりの家賃=1680円)



市政へのご意見をお聞かせ下さい!

こおご保雄は

自らが汗を流し、日本人として生まれ育まれた、古くから重んじられてきた伝統や礼節を尊ぶ心を見失わず、正直な人が報われる、弱い人が救われる、そんな当たり前な社会の実現に向けてまちづくりに邁進します。

お願い

市民の皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、必ず目を通し、議員活動の参考にさせていただきます。後日、顛末をご報告させていただきます。出来ましたら匿名ではなく、連絡先をお知らせいただければ幸いです。

こおご保雄事務所

住所：〒260-0017 千葉市中央区要町5-6 松山ビル2階
TEL：043-221-1288 FAX：043-221-5422
ホームページ：http://www.kogo.cc/

こおご保雄 検索

